

いぼがわ

せせらぎたより



揖保川町半田付近より上流を望む

Contents

揖保川流域委員会 設立会の開催

- ◆ 兵庫県下の国土交通省が管理する川で初めての流域委員会が発足しました

第1回 揖保川流域委員会の開催

- ◆ 情報公開の方法や今後の審議の進め方について話し合いました

このニュースレターは、「揖保川流域委員会」の審議内容について流域の皆さんに発信するために、委員会が編集・発行しています。揖保川流域委員会の内容は、ホームページでもご覧いただけます。

揖保川流域委員会 ホームページアドレス <http://www.iboriver.jp>

表紙写真
募集中

第三者からなる揖保川流域委員会が設立されました

■日 時：平成14年3月4日(月) ■場 所：ホテルサンガーデン姫路

設立会の概要

1 河川管理者挨拶

近畿地方整備局鈴木藤一郎局長より、流域委員会設立の背景、河川整備計画の必要性、委員会へ寄せる期待等が述べられました。

2 委員の紹介

昨年10月から、設立準備会議において審議・選出された、委員20名の紹介が河川管理者から行われました。

3 揖保川流域委員会の設立

河川管理者より、流域委員会の河川法上の位置づけ、設立趣旨等の説明が行われました。

引き続き、設立準備会議の要旨報告を藤田正憲設立準備会議議長が確認され、揖保川流域委員会規約の読み上げをもって揖保川流域委員会設立の運びとなりました。

なお、流域委員会の庶務は、中立的立場で委員長の指示を受けて行うとの規約第7条に基づき、民間企業（株）ニュージェック）が行うことが報告されました。



設立会で確認された内容

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 新しい河川整備の計画制度 | 4 揖保川流域委員会設立準備会議の要旨 |
| 2 揖保川流域委員会の設立趣旨 | 5 揖保川流域委員会規約 |
| 3 揖保川流域委員会の審議対象範囲 | 6 揖保川流域委員会の庶務 |

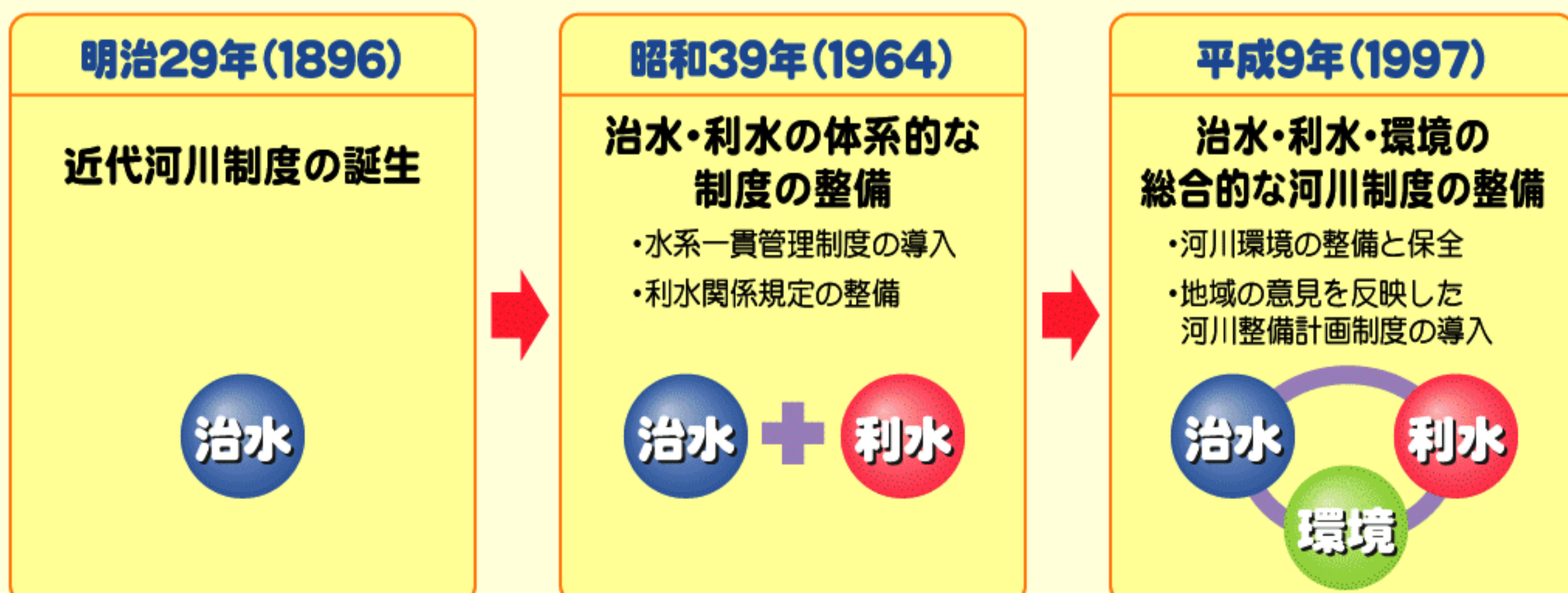


図 河川法改正の流れ

第1回揖保川流域委員会

第1回委員会の内容

■日 時：平成14年3月4日(月) ■場 所：ホテルサンガーデン姫路

委員会の概要

はじめに、規約にもとづき、藤田正憲委員（大阪大学大学院教授）が委員長に、道奥康治委員（神戸大学教授）が委員長代理に選出されました。



1 揖保川と流域の概要の説明

引き続き、「揖保川と流域の概要」について河川管理者（近畿地方整備局姫路工事事務所長）より、スライドを用いた説明が行われました。

2 揖保川流域委員会の情報公開についての審議結果

設立準備会議において審議された、以下の流域委員会の情報公開方法を大筋で確認し、規約第6条第1項にもとづき、これを決めました。

1 会議の開催案内方法

- 会議の開催案内の方法は、①記者発表、②インターネット、③流域市町村へのポスターの掲示依頼、④チラシの流域住民への配布によるものとする。

2 傍聴の申し込み方法

- 一般傍聴の受け付けは事前に申し込むことを原則とし、会場の収容人数に余裕がある場合は、当日会場での申し込みも受け付けるものとする。
- 事前申し込み者数が会場の収容人数を超える場合は事前抽選とする。

3 会議資料の取り扱い

- 当日の委員会資料の配付は、原則として傍聴者を含めすべての委員会参加者に配布することとする。
- 委員会資料について後日請求があった場合は、部数を制限して無償で送付することとする。

4 審議結果の公表手段

- 議事録は、速報、概要および詳録を作成し、ともに公開する。
- 議事録の概要は、読む人に発言要旨が伝わる程度の内容とする。
- 議事録の詳録は、姫路工事事務所での文書閲覧と、ホームページからのダウンロードができるようにする。
- 議事録は、姫路工事事務所ホームページ、ニュースレターを通じて公表する。
- 速報については、速やかな公表のために委員長一任とする。

5 記者発表

- 記者発表は適宜必要に応じて行い、節目ごとに効果的な発表方法を検討する。

6 その他

- 委員が独自に公表する場合は、庶務の公表後とする。

なお、委員からは、会議開催案内や審議結果を公表する際の情報発信先とその媒体について意見が出され、できるだけ多くの人々に流域委員会について知っていただけるように努力することが申し合わされました。

委員からの主な発言

1 会議の開催案内について

- 開催案内チラシの配布先を図書館や公民館など、もう少しこまめにしたほうがよく徹底する。また、生活情報にかかわる小さな機関誌へも記者発表の資料を送ってはどうか。
- 開催案内の新聞折込は、流域内の日刊紙の販売店を対象とすれば全紙に行き渡る。また、NHKのご協力をいただいたり、ミニコミ放送局等の小さなメディアを発掘してはどうか。あるいは、自治会の情報伝達手段を活用してはどうか。
- 今回の開催案内を見て地元の皆さんからよく声を掛けていただいた。あまり十分でないような気もするが、新聞折込は非常に効果があるのだと思う。
- 電子メールなどのパーソナルメディアを活用して委員会のPRができるような方向性を持たせていただきたい。
- 各町でそれぞれ生涯学習というものを持っており、そういうところにも学習の資料を送って各地域で学習を深めていただければよいのではないか。
- どういう開催案内方法が効果があるのかを見るために、傍聴者に簡単なアンケートを行い、何でこの開催を知ったかということ調べれば、今後力点を置くべきメディアがある程度特定できるのではないか。
- 傍聴者の方や、地域の中で川に親しむ活動をされているテーマコミュニティのようなものがあるので、そういう方へDM（ダイレクトメール）を送ってあげたらどうか。

第1回委員会「揖保川と流域の概要」説明より

揖保川の歴史

流路の固定



古代の揖保川は、現在よりも東を流れていたと考えられています。揖保川は洪水のたびに流れを変えながら西へ西へと移動していきました。

出典：揖保川風土記、兵庫県 / 揖保川町

第1回委員会「揖保川と流域の概要」説明より

揖保川の歴史

取水の歴史



15世紀後半に描かれた「半田井、岩見井水論絵図」などから取水をめぐる水争いの歴史を知ることができます。

半田井、岩見井水論絵図

出典：岩見井・半田井推論絵図（龍野市歴史文化資料館蔵）

- ポスターの掲載内容に、流域委員会の目的と、各回の審議の進め方が示されているとよい。
- 実際に流域で活動されている方たちとどのように情報を共有するかは、単に情報公開というより、この流域委員会の活動の一部に含まれるべきだろう。かなり積極的に考えていった方がいいのではないか。例えば、兵庫県では地域ビジョンを策定し、県民参画型で総合計画のようなものを作っていくとしていっている。そこで情報のネットワークを今後どうやって構築していくかをお考えになっておられるので、いろいろな形で協力してはどうか。

2 審議結果の公表手段について

- 委員会の開催案内チラシやニュースレターは人がたくさん来る水族館などにも送っていただきたい。許せる範囲で広く配布していただきたい。
- 揖保川流域の川づくりやまちづくりをされている団体、コミュニティの数を一度確認していただきたい。そういったところに対して平生からいろいろな情報を流しておくことが非常に大切ではないか。また、議事録も次回の開催通知と同時にDMで送っていただければなおよい。
- DMで、メールマガジンのようなものができるか。そうすれば登録者の推移を見ることで、流域委員会で議論していることに関心を持っていただいている方がわかる。ただし、どれだけ手間がかかるか把握できないので現実的に判断願いたい。
- 詳録は、言葉を一言一句まちがいに再現しようというのではなく、趣旨をきちんと踏まえたうえで、わかりやすい文章、例えば主語が欠けていれば補うとかを考えて発表していただいた方が、読む方も非常にわかりやすい。

第1回委員会「揖保川と流域の概要」説明より

揖保川の洪水

洪水時の状況
平成2年9月 台風19号



あづみ
安積橋下流部



かみかわ
神河橋

平成2年9月の台風19号により揖保川は氾濫し、流域に甚大な被害をもたらしました。

委員長によるまとめ

- 会議の開催の案内方法、審議結果の公表方法については、できる範囲で庶務にフレキシブルに工夫していただき、より多くの関心を持っている方に本委員会を知っていただくようにする。
- 情報の提供先として、会場の皆様をご存知の活動グループ、特に委員の方々がご存知の活動グループがあれば、インターネットのグループなども含めて、庶務に情報を伝えていただきたい。
- 委員が独自に発表する場合は、議事録の概要のホームページ上での公表を受けて、発表していただくようお願いいたします。

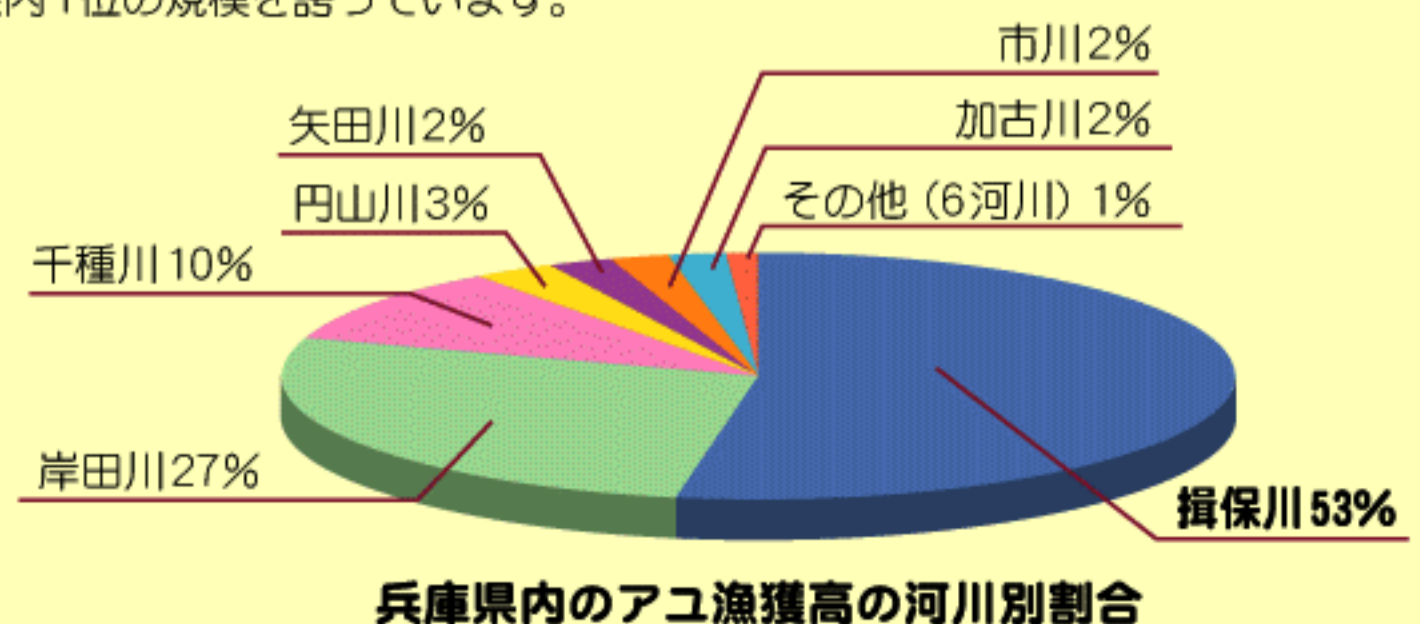
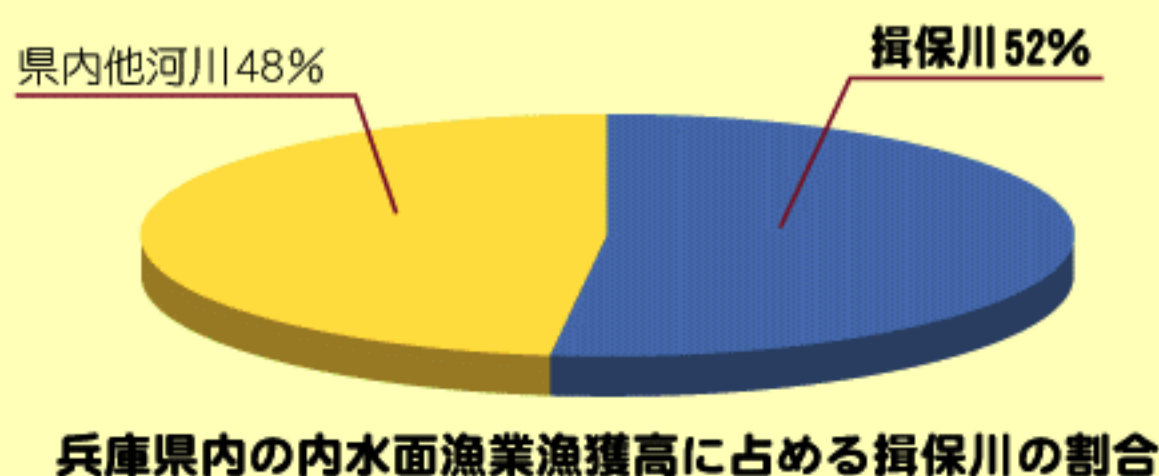
3 今後の委員会審議の進め方について

今後の委員会審議の構成とおおよその予定については、当初の一年間は①揖保川と流域の現状認識、②揖保川と流域への想い、③揖保川の川づくりに向けた課題、を共有し、④揖保川の河川整備の方向性の検討、⑤河川整備計画（原案）の審議、と段階を踏んで進めることが確認されました。

第1回委員会「揖保川と流域の概要」説明より

揖保川の内水面漁業

兵庫県におけるアユなどの内水面漁業漁獲高に占める揖保川の割合は、全体の過半数を占め、県内1位の規模を誇っています。



出典：兵庫県統計書

委員からの主な発言

- 何度かはフィールドワーク的に現地に行き、地域の方とともに学ぶということ、この委員会の取り組みの手法として大事にできないか。
- 2段階目の「揖保川と流域への想い」に重点を置き、流域の皆さんの生の声を聞けるような勉強会やフォーラムを、いろいろな活動をされている団体やその核になる方々を中心に、流域内の何か所かですることができるような機会、仕組みづくりを考えていただきたい。
- 近いところで、積極的に川づくりや川を中心としたまちづくりをやっているところに見学に行くのも非常に参考になる。
- 近いところで、実際に河川整備をされた結果どうなったか、他の河川整備の結果を資料として教えていただければありがたい。
- 流域で活動されている方にどういった方がおられ、どういう活動をされているのかという情報を持って、委員会でそういう方にいかにご協力いただくかということをお話し合っていきたい。

今後の審議の構成とおおよその予定

平成14年 3～6月頃

揖保川と流域の現状認識
(情報の共有化)

平成14年 7月頃

揖保川と流域への想い
(各委員及び流域の人々の想いの共有化)

平成14年 8～10月頃

揖保川の川づくりに向けた課題
(河川管理者の認識課題、委員会の認識)

平成14年 11～12月頃

揖保川の河川整備の方向
(河川整備計画原案への要望)

平成15年 2月頃～

河川整備計画(原案)の審議

第1回委員会「資料2-5」より

委員長によるまとめ

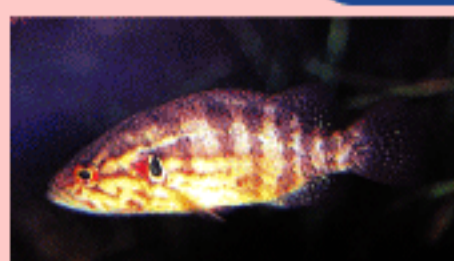
- 委員の先生方が持っておられる情報をできるだけ庶務に送っていただき、地域から意見を収集する方法論についても、具体的にどうやっていくかということをお話していきたい。
- 委員会の開催も、できれば現地で開催することにより、生の情報に接するというようなことを進めていきたい。次回、あるいは次々回ぐらいは川の上流あたりで開催し、現地についての情報も教えていただくということにしていきたい。
- 次回の委員会は、5月の連休明けあたりに現地を見に行くこととし、行程は庶務と委員長とで相談させていただくことにする。

第1回委員会「揖保川と流域の概要」説明より

揖保川の自然環境

生物の状況

魚類



オヤニラミ



トビハゼ

鳥類



カワセミ



カワウ



オオヨシキリ

植物

フクロ



ツルヨシ

揖保川に生息する生物の実態について「河川水辺の国勢調査」において調査されており、さまざまな生物の生息が確認されています。

揖保川流域委員会とは

平成9年の河川法改正に伴い、これまでの「治水」「利水」に加えて「河川環境の整備と保全」が法の目的に追加されました(図-1参照)。

また、これまでの「工事实施基本計画」に代わって、長期的な河川整備の基本となるべき方針を示す「河川整備基本方針」と、今後20～30年間の具体的な河川整備の内容を示す「河川整備計画」が策定されることになり、後者については、学識経験者、地域住民等の意見を反映する手続きが導入されました(図-2参照)。

揖保川流域委員会は、「揖保川河川整備計画案(直轄管理区間)」の策定にあたり、

- 1 河川整備計画の原案について意見をいただく
- 2 関係住民意見の反映のあり方について意見をいただく

ことを目的に設立するものです。

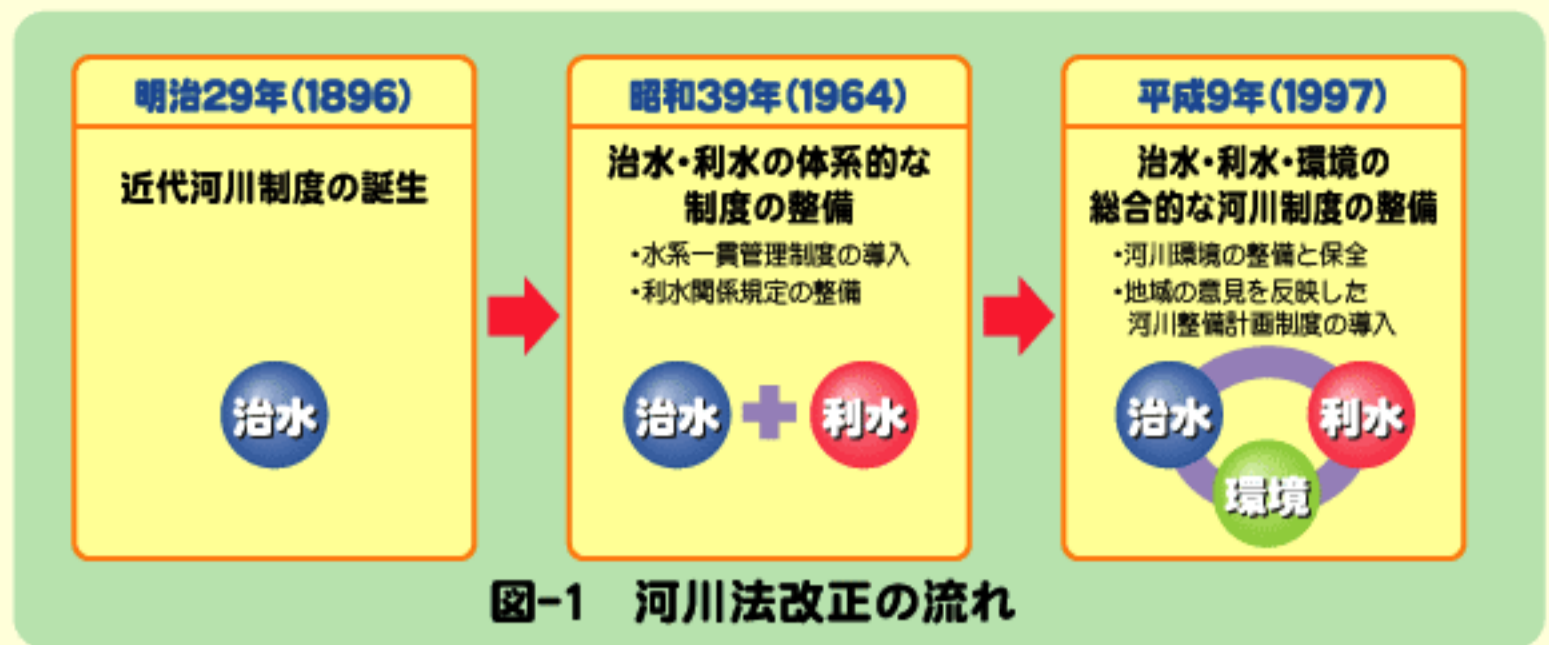


図-1 河川法改正の流れ

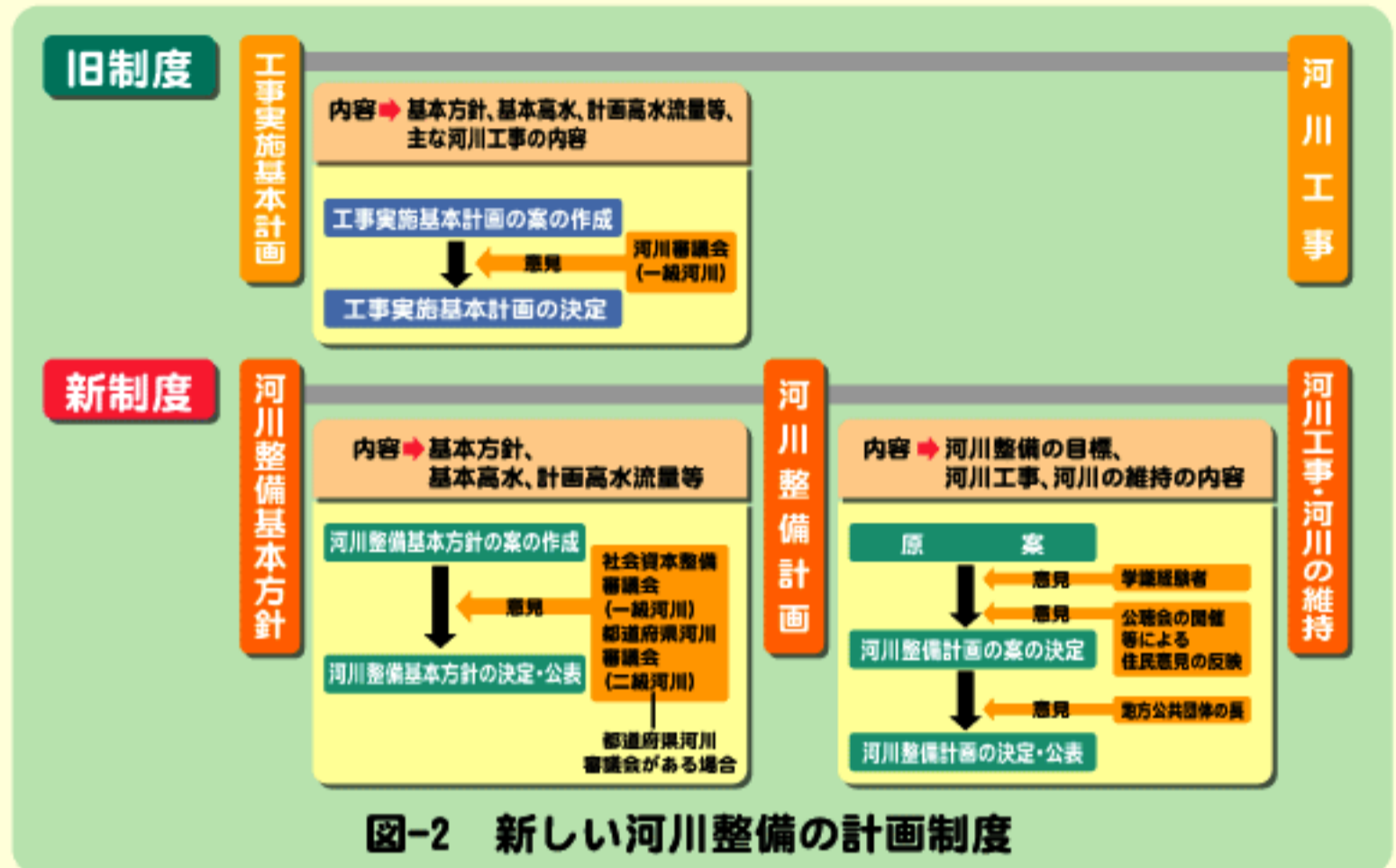


図-2 新しい河川整備の計画制度

揖保川流域委員会委員名簿

氏名	所属	分野
あさみ かよ 浅見 佳世	姫路工業大学客員助教授	植物生態
いENAが よしふみ 家永 善文	前姫路科学館館長	環境全般
いげた たける 井下田 猛	姫路獨協大学法学部教授	環境政策
くしだ たいぞう 榑田 泰三	揖保川漁業協同組合組合長	漁業
しょう かずゆき 庄 一幸	元中学校校長	上流域の地域特性
しんどう じゅんぞう 進藤 淳三	元社団法人龍野青年会議所理事長	グラウンドワーク 地域経済
たなかまる はるや 田中丸治哉	神戸大学大学院自然科学研究科助教授	農業水利
たはら なおき 田原 直樹	姫路工業大学教授	都市計画
とちもと たけよし 柄本 武良	姫路市立水族館館長兼 島根県立宍道湖自然館館長	水生動物 多自然型河川工事
なかのう かずや 中農 一也	学校法人誠和学院 姫路建設専門学校校長	都市環境デザイン まちづくり

氏名	所属	分野
なかもと たかみち 中元 孝迪	神戸新聞社常任監査役	マスコミ
はだ しげき 波田 重熙	神戸大学大学院教育研究センター教授	構造地質学
ふじた まさのり 藤田 正憲	大阪大学大学院工学研究科教授 大阪大学保全科学研究センター長	水質管理工学 環境生物工学
まさだ とみお 正田 富夫	うすくち龍野醤油資料館館長	地場産業
ますだ きよし 増田 喜義	網干史談会会長	歴史・文化財
まるやま のぶゆき 丸山 信行	元姫路市水道局浄水課長兼水質検査室長	上水道
みちおく こうじ 道奥 康治	神戸大学工学部教授	河川工学 環境水理学
もりもと いちじ 森本 一二	元中学校校長	歴史・文化財
よしだ ひさあ 吉田 久夫	播州皮革工業協同組合理事長	地場産業
わさき ひろし 和崎 宏	はりまインターネット研究会	地域情報化

これまでに開催された会議

● 揖保川流域委員会 設立準備会議

第1回設立準備会議 平成13年10月15日(月)

第2回設立準備会議 平成13年12月11日(火)

● 揖保川流域委員会

第1回委員会 平成14年3月4日(月)

資料の入手方法

委員会資料の閲覧・郵送を希望される方は、電話・FAX・Eメールで庶務までご連絡下さい(庶務の連絡先は裏面をご参照下さい)。

※委員会資料は、ホームページからもダウンロードできます。

「表紙写真」の募集

揖保川流域委員会ニュースレターの表紙を飾る写真を、一般の方より募集します。
四季おりおりの揖保川の風景や行事など、揖保川流域内で撮影された写真を応募して下さい。
なお、ニュースレターは委員会の開催ごとに発行する予定で、表紙として採用させていただく
写真の選定は、委員会において行います。
また、応募いただいた写真の一部を揖保川流域委員会ホームページでも紹介させていただく
予定です。

【応募方法】

スリントした写真と、撮影場所・撮影時期等の説明文を同封し、住所・氏名・電話番号をご記入の上、
下記の庶務連絡先まで郵送で応募して下さい。応募写真は、未発表の作品に限らせていただきます。

※なお、使用させていただく写真の著作権、著作権は委員会に帰属するものとし、応募作品は返却しませんので、
あらかじめご了承ください。



揖保川流域委員会ニュースレター No. 1

【編集・発行】 揖保川流域委員会

【連絡先】 揖保川流域委員会 庶務

株式会社ニュージェック 担当：高橋、岡田

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-20-19

TEL : 06-6245-9577

FAX : 06-6243-2776

E-mail : office@osaka.newjec.co.jp

揖保川流域委員会 ホームページアドレス <http://www.iboriver.jp/>